白秋献詩に全国から6123点の応募
白秋祭式典で4人が詩の朗読

【問】市学校教育課総務係（☎0944・77・8862）

文部科学大臣賞受賞作品

「山先生」

みやま市立清水小学校
5年　田中 健翔

ぼくの町にある山は
いろんなことを教えてくれる先生だ
頭から太陽を引っぱり出し
世界は彩りのある
美しい世界だということを
教えてくれる

ぼくをかたに乗せ
世界はこんなにも広いということを
教えてくれる

たまにひざをゆらして
自然のこわさを教えるけれど
みんな協力して生きろよと
教えてくれている

背中では
その後ろの世界を想像させて
ぼくたちに考える力を教えてくれる

ぼくは毎朝顔を合わせる
い大な山の先生に
かぶっていたぼうしをぬぎ
今日も深く頭を下げる

作品を朗読する田中さん

柳川が生んだ詩人、北原白秋の偉業をたたえるため、毎年、白秋献詩を募っています。今年の応募は、全国から6123点。その中から152点が入選しました。

受賞者の表彰を兼ねた白秋祭式典を白秋の命日の11月2日、白秋詩碑苑で開催しました。秋晴れの下、松永市長や柳川白秋会の大城昌平会長などが出席。式典では、最高賞の文部科学大臣賞に輝いたみやま市立清水小学校5年の田中健翔さんと福岡県知事賞を受賞した3人が、作品を朗読しました。その後、矢留小学校6年生の児童が「この道」などを合唱。式典の最後は、参加者全員で「帰去来」を合唱して白秋の遺徳をしのびました。

白秋献詩の特選と特別賞、市内からの入賞者は次のとおりです（かっこ内は学校名や学年など。敬称略）。

特選・特別賞

●文部科学大臣賞　田中健翔（清水小5）

●福岡県知事賞　森泰里（広島大学附属小2）、東條緒美（高取中3）、戸田和樹（京都市）

●福岡県教育委員会賞　畠野虎太郎（藤吉小3）、石井明美（群馬県前橋市立箱田中2）、感王寺美智子（朝倉市）

●北原白秋生家記念財団賞　石橋穂薫（福岡教育大学附属久留米小1）、清水世莉（群馬県前橋市立箱田中2）、高橋颯佑（伝習館2）

●伝習館三稜会賞　木下慧子（桜舞館小6）、梅崎樟（昭代中1）、小川璃子（伝習館2）

●白秋長女岩崎篁子賞　田村優妃紗（両開小3）、細田花緒（愛知県刈谷市立依佐美中2）、三成市華（東邦高1）

市内入選者

□小学生の部

●二席　竹井優貴（両開3）、松藤清華（垂見1）、木原咲良（矢ヶ部6）、古賀朝陽（矢留4）

●三席　高田奏汰（垂見5）、樽林世凰（やまと6）、笠間一翔（両開2）、坂元真央（矢留4）、高口真緒（柳河6）、不破みあ（中山4）、竹井太一（両開1）、川津玲空（矢ヶ部1）、髙木絢（昭代第二4）

●佳作　秋吉玲佑（東宮永1）、吉岡さら（城内4）、菊次竜弥（藤吉6）、江口綾乃（蒲池2）、坂本瑛斗（やまと5）、河野知由（城内6）、野口陽菜乃（蒲池4）、山田百々花（藤吉6）、髙巣史帆（垂見5）、稲田純也（藤吉5）、田原壮（矢留4）、北岡弥桜（城内2）、平田穂華（やまと2）、古賀武瑠（藤吉1）、椛島光莉（同5）、田島愛姫奈（やまと1）、松藤わた（矢留4）、柿原菜那（藤吉5）、山口杏（城内4）、古賀栞渚（藤吉5）、石原歩悠斗（蒲池4）、浅野結愛（藤吉6）、田中愛美（矢留4）、岐部佑夏（蒲池6）、大薮鈴乃（同）、千代田梓花（やまと2）、井上幸紀菜（柳河6）、成清乙楓（やまと6）、高田稀琉（東宮永6）、北原樹（昭代第一6）、古賀彩葉（昭代第二5）横山章輔（やまと2）、古賀瑠月奈（城内1）、中村勇博（蒲池6）、大橋りさ（柳河6）、荒巻楓佳（昭代第二4）、矢ヶ部寿春（矢ヶ部1）、池田橙天（矢留4）、小鶴莉央果（やまと1）、櫻木望未（柳河2）、妻夫木鉄兵（蒲池2）、田中琉輝（矢留4）、山田高典（柳河6）、池松れい（矢留6）

□中学生の部

●三席　西田美月（柳城3）

●佳作　木原竜門（大和1）、古賀衣織（昭代1）、鷹尾咲彩（大和3）、黒田兼続（同）、入来田莉那（蒲池2）、江口愛羽（昭代2）、金城加奈（大和2）、菊次桐衣（三橋1）、渡辺杏（大和1）、金子暖奈（昭代1）、井上蒼唯（三橋3）、下川陽楽（三橋2）、山田優里香（同）

□高校生・一般の部

●二席　執行美遥（伝習館2）、山口莉歩（同）

●三席　古賀空音（伝習館2）

●佳作　武田羽白（伝習館2）、佐藤悠（同）

文部科学大臣賞、福岡県知事賞の4人を表彰

「帰去来」を合唱し白秋の遺徳をしのぶ参加者

白秋祭水上パレード

3日間で122艘の乗舟客が夜の掘割を楽しんだ

秀ノ山部屋の力士たちも観光客をおもてなし

北原白秋先生の命日11月2日を挟んだ3日間、川下りコースの掘割で白秋祭水上パレードが開催されました。乗舟客は白秋詩碑苑で帰去来の石碑に献酒をした後、どんこ舟で沖端地区を出発。終点の柳川橋へと向かう「川上り」のコース沿いには行灯やかがり火が灯された他、市民らによる囃子や琴、太鼓の演奏などで乗舟客をもてなしました。